

北海道 オホーツクエコクラブ（北見市 家族・親戚のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

今年のメンバーは、「エコ活1年生」ばかりのチームだったので、はじめてでもできる「エコ活」みんなで考えながらやってみました。そして、2018年9月におきた「胆振東部地震（いぶりとうぶじしん）」で停電が3日間続いたことをふりかえってみました。その時の不自由な体験から気づいたことや学んだこと、さらに、停電の被害は酪農家にも大きな影響をおよぼしたことをたくさんの人に伝えたいと思います。



消費者庁長官賞

消費者庁長官賞のじゅしょうおめでとございます。

みなさんの作品「ぼくたち わたしたち はじめてのエコ!」では、いまずぐはじめられる「1年生でもできるエコ!」のとりくみをはじめ、毎日のたべものから見た生き物のつながり、じしんでんきが使えなくなったことを思い出して、でんきの大切さやおトクな使い方のていあん、ピンチになったぼくじょうに見学に行きお話をきいてまとめるなどして、たいへんわかりやすく、よくできていました。（消費者庁 消費者教育推進課 課長補佐 三次 一徳さんより）

わたしたちのSDGsアクション!



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

わたしたちは、これからも水や電気をムダにしないようエネルギーパトロールや地球にやさしいエコ活を続けていこうと思います。一人ひとりの力は小さいけれど、全国の子どもエコクラブの仲間が力を合わせればとても大きなパワーになるので、これからもいっしょにエコ活を続けていきましょう!

青森県 HEP21エコクラブ（弘前市 地域の団体のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

- 1) かべ新聞をみやすくするため、文字に色をつけたり、折り紙の大きさや色を変えたりしました。
- 2) エコキャンプなど例会ごとにかいた絵日記をまとめてはりました。1年を振り返ることができてよかったです。
- 3) 絵日記作りは、様子がわかるように絵をくふうしてえがきました。
- 4) この青森県弘前市の片隅の「だんぶり池」だったのに、急に UNDB-J（国連生物多様性の10年日本委員会）からすてきなロゴマークをもらえて、私たちはとてもうれしいです。このすてきなロゴマークは日本伝統の折り紙なので、本物の折り紙でつって壁新聞に貼り付けました。制作時間は3人で10時間！！小さく作ったのでむずかしかったです。また実際に折ってみると生き物の大きさのバランスが合わず何個も作り直しました。特に魚が大変でした。



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから↓

全国の仲間へのメッセージ

私たち HEP21 エコクラブは、16年間雨水の分析を行っており、メンバーが代々引継ぎ蓄積したデータをもとに（国立）弘前大学と一緒に PHと電導度の分析をおこなって壁新聞に発表してきました。またメンバーのひとり（中学一年生）が2020年1月「第14回 HEP21 自然学習会」にて“海洋プラスチックゴミを解決する3R”と題して弘前市民にむけて発表（歴代最年少）する頼もしいメンバーが出てきました！

タカラトミー賞

みなさんの身近にある「だんぶり池」はいろいろな動植物が生きる素敵な自然学習の場であることがとても伝わりました。池の源となる雨水は1年かけてしっかり観測し分析されています。

壁新聞も折り紙や絵日記等インパクトのある見ごたえ充分な内容でした。先輩から引き継いだこの活動をどんどん進化されることを期待しています。

（株式会社タカラトミー 関係会社管理部社会活動推進課 課長 高林 慎享さんより）

宮城県 南三陸少年少女自然調査隊（南三陸町 自治体の募集クラブ）

みんなに一番伝えたいこと

私たちの新聞のアピールポイントは、3つあります。1つ目は「お話わく」です。一人ひとりが楽しいお話を考えて、ていねいに書きました。2つ目は自分たちで考えた文章です。一人ひとりが工夫して書いた文章なので、ぜひみてください。3つ目は海藻おしぼです。志津川湾で取れた、本物の海藻を使って作りました。

このほかにもアピールポイントはたくさんあるので、ぜひみてください。

わたしたちのSDGsアクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

南三陸のきれいな海と豊富な海の幸は、私たちのほごりです！
志津川湾がラムサール条約湿地になったことをきっかけに、地元の海や森、川、里のみよくを自分たちで調査し伝える、南三陸少年少女自然調査隊が誕生しました。
全国の子もたちと今後も交流していきたいです。

環境大臣賞

環境大臣賞受賞おめでとうございます。

たくさんの活動や調べた結果をまとめて読み応えある壁新聞を応募していただきました。

川や海のどこにどんな生き物がいてどんな反応をするのか、五感を使って観察し、豊かな海藻の森を観察して押し葉の記録を作り、また、人と自然のつながりや森・里・川・海のつながりを調べられた皆様の感性や気持ちが良く伝わってきます。

これからも、南三陸少年少女自然調査隊の皆様が、自然を深く理解して大切にする活動を続け、広げて下さることを期待いたします。（環境省 大臣官房総合政策課 民間活動支援室 室長 三木 清香さんより）

秋田県 マックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブ（秋田市 イオンのクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

このかべ新聞で工夫したことは、ただ色をぬるだけでなく、紙をちぎってはり、どの世代の人が見ても分かるようにしました。さらに色を濃く、顔をつけるなど工夫しました。また、ちぎって貼った紙はあまり物を使うなど、かべ新聞製作中にも「エコ」を意識しました。「見て」「聞いて」楽しいかべ新聞ができあがりました。SDGs のロゴマークを模造紙の回りに貼り付け、未来につなげました。



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

子どもたちが自分で考えた絵や、調べた図やグラフをたくさん載せています。また、実際に体験した春・夏・秋の写真なども多く、この1年の活動の楽しさや学んだことがたくさん詰まった壁新聞になっています。今話題のSDGsも取り上げました。2030年には皆さんは未来づくりの主演になっているでしょう。

コーディネーターからのメッセージ

今年の「マックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブ」のテーマは「地球と太陽」。地球の自然環境になくてはならない太陽についてくわしく調べ、太陽の光がもたらす光と光合成との関係や、地球温暖化に関わる二酸化炭素量の変化について、図やグラフを使い工夫してまとめられています。

また、SDGs を意識し、写真や文章で実際に環境活動に熱心に取り組んでいる様子もよくわかる壁新聞となりました。
(秋田県事務局)

茨城県 逆川子どもエコクラブ（水戸市 地域の団体のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

日韓子供交流会に参加して印象深かったことは、動植物についてです。これまでの8年間の活動から、生物や自然環境について理解を深めてきました。そして今回、韓国での生物調査などを通じて、地元とは異なる地域の自然についても知る機会がありました。その中で、日本との相違点だけでなく、共通点も多く見つけることが出来ました。これからも、この貴重な経験を活動に生かせるよう、積極的に活動していきたいと思えます。是非、皆さんの活動している地域とも比べながらご覧ください。



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

今回、この交流会に参加したことで、自然・文化の両面でたくさんの発見をすることができました。自分達が活動している場だけでなく、どこか違う自然についても知ることで、それまでよく知っていた環境も異なる視点から見つめ直すことが出来ます。そうすれば、もっと自然環境に理解を深めることが出来るはずですよ。

コーディネーターからのメッセージ

逆川子どもエコクラブのみなさん、こんにちは。2019年度は自然観察会、環境保全活動、そして各所での発表と、大活躍でしたね。県の代表作品となった壁新聞「ウポ沼日韓子供交流会」からは、韓国での交流会や現地での観察会の様子、数日間にわたる活動を通して考えたことが生き生きと伝わってきました。

2020年度もさまざまな活動を計画していっしょにしたいと思います。次回も、壁新聞で活動の様子を教えてください。楽しみにお待ちしております。（茨城県事務局）

〇 栃木県 森の小人（大田原市 ガールスカウトのクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

足尾の植樹に森の小人メンバーはたくさん参加します。足尾は昔、銅山でした。しかし、煙の害で山は、はげ山になってしまったのです。そんな山に私たちは毎年、木を植えに行きます。

たくさんのボランティアの方々と一緒に「大きくなれ」「元気に育ってね」「また来年来るからね」と願いを込めて植えてます。2005年より参加し、今年で15回目。みんなで活動すれば、大きな力になるので頑張っ活動が続けて行きたいと思います。



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

今年の冬は、とても暖かでした。去年は台風、水害など地球温暖化による現象が起きています。

こどもエコクラブの活動は今、自分ができるところをやることで防止につながると思っています。大切な地球のため、これからも活動を続けて行きましょう。

🎀 コーディネーターからのメッセージ

5つのメイン活動を「エコリンピック」と命名したところが COOL！

それぞれの活動のポイントもわかりやすいです。

みなさんの吹き出しの感想から、どの活動も楽しそうで、役立ったことが伝わってきました（^^♪

（栃木県事務局）

群馬県 太田イオンチアーズクラブ (太田市 イオンのクラブ)

みんなに一番伝えたいこと

太陽の光をあつめて料理をつくる。

まず、大学の先生と一緒にソーラークッカーについて、教えてもらいました。次に自分達でダンボールで作ってみて、自分達でもソーラークッカーでゆで玉子、ホットケーキをつくってみました。失敗もしたけれど、どうした方がよいかもわかってきて、楽しく、おいしかったです。



わたしたちの SDGs アクション!



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

一年間、色々な活動をして、自然や太陽について学びました。壁新聞にも色々な活動をした事を書きました。よんでみて下さい。全国のクラブのおもしろかったり、してみたい活動も、もっと知りたいと思います。他のクラブの壁新聞をみるのも楽しみです。

コーディネーターからのメッセージ

今年のテーマを自然や太陽に設定して、4月から、みなかみユネスコエコパークの見学、ソーラークッカー体験、足尾の植樹、金山や店周辺の清掃活動など、計画的に自然や太陽についても知識や理解を深める活動をしています。今年度も、前橋市のサンデンフォレストで実施した第24回群馬県エコクラブ交流会に太田市から公共交通機関を使って参加しました。また、前橋市で実施した交流会にも参加し、壁新聞を提出・掲示しました。地域の環境活動にとても熱心なクラブです。(群馬県事務局)

〇 埼玉県 竹の子エコクラブ（三芳町 地域の友だちのクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

- ・特に読みやすいように文章を工夫しました。また、説明したところをさらに分かりやすくするために写真も載せました。ぜひじっくり見てください。
- ・大変だったけど、みんなで協力してがんばったので、良い新聞ができました。うれしかったです。
- ・（記事にはありませんが）僕の学校の近くにある、こぶしの里（斜面林）で、毎年、春、夏、秋にやるビンゴゲームという活動は、ゲーム感覚で自然を楽しむことができます。また、季節によって自然の楽しみ方が変わります。



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

- ・生きていく上で、エコは大切だと感じる。環境も大切にしていけることが必要だと思いました。
 - ・この地球を良くするも悪くするも、それを決めるのは僕たち人間です。だから、これからもエコ活動を続けて、この地球を少しでも良くしていこう！
 - ・会えなかったクラブのみなさん、この大変な世の中を、みんなで乗りきろう！
- 将来また会えたらうれしいです！！

コーディネーターからのメッセージ

文字や写真の配置等、本物の新聞のような構成で、とても読みやすかったです。タイトルや、大切なキーワードへの色付けは、とても鮮やかで読んでいて非常に楽しかったです。1年間、地域の自然の中で行う体験活動を、感想やその目的と共にいきいきと表現できていて本当にすごいです。

1年間の様々な活動、お疲れ様でした。これからも三芳町の素敵な環境を大切にして、活動を頑張ってください。

(埼玉県事務局)

千葉県 しろくまキッズ（浦安市 地域の友だちのクラブ）

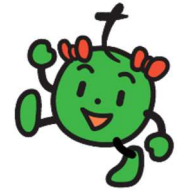
みんなに一番伝えたいこと

一番大変だったのは、夏休みの自由研究で太陽光について調べたことです。ソーラークッカーを自分で作って実験しました。いろいろアクシデントはあったけれど、ジャガバターを作ることができました。

この壁新聞を見てくれた人が、環境にもっと関心を持ってくれたらいいなと思います。そして、環境破壊のない社会になってくれたらいいなと思います。



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

全国フェスティバルで、名刺交換や直接会って話すのを楽しみにしていたけれど、中止になって残念でした。来年も千葉県代表になって、みんなと会いたいです。



コーディネーターからのメッセージ

一年間の活動がよくわかります。ソーラークッカーについて、たくさんのことを教えてくれてありがとうございます。気になることを調べ、ついには手作りソーラークッカーまで発展していく様子が素晴らしいです。とことんまで調べることは大きな力になりますね。いろいろな活動の中では大変なこともあるはずですが、一番に楽しさが伝わる素敵な新聞だと思いました。

(千葉県事務局)

神奈川県 大鋸児童館こどもエコクラブ（藤沢市 児童館のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

海洋汚染「マイクロプラスチック」が問題で、私たちの住む地球と海が、どのような危機にさらされているか、（公財）かながわ海岸美化財団（地域連携）を訪ねました。学習する前と後では子どもたちの意識ははっきりと変わってきました。海にはこんなにもたくさんのゴミが集まってくること・動物の被害が心に響いたようでした。全国の皆さんに海のゴミについて知って頂きたく、地元江ノ島をバックに、新聞の中心にアピールしました。

農業栽培としてお祝いのときによく出てくるアズキを育ててみました。アズキは手のかからない作物でしたのでたくさん収穫でき、赤飯にしておいしく食べることができました。アズキは料理から遊びまで（お手玉）いろいろな役割があることを学びました。



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

海のゴミには、人の生活のゴミがたくさんありました。海から遠く離れた街の中でポイ捨てされたゴミが、川を通して最後には海の生物のお腹に入ってしまう命を脅かします。一人ひとりの意識がとても大切であることを痛感しました。皆さんもゴミは決められた捨て方をするようにお願いします。

コーディネーターからのメッセージ

大鋸児童館こどもクラブの壁新聞は近年大きな問題となっているプラスチック問題を大きく取り上げ、調査に基づき、よく考えていると感じました。また、内容にあった写真や絵が上手に使われ、読みやすく、興味を引くよう工夫されていました。

海岸のゴミ拾いなどの環境活動もとても素晴らしく、来年度の環境活動も壁新聞を通して拝見できることを楽しみにしています。（神奈川県事務局）

新潟県 三ツ星エコクラブ（魚沼市 家族・親戚のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

新聞のアピールポイントは、「見やすさ」と「美しさ」です。さらに今年はSDGsを意識し、新聞のまわりにSDGsカラーをとり入れ活動紹介しています。

そして、今回はメンバーがそれぞれ見つけた身近な環境についての問題点について調べ、自分で考えた解決策を提案し、現状を知ってもらい、一緒に環境について考えてもらえるような内容にまとめました。



わたしたちのSDGsアクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

みなさんとの名刺交換や新聞の発表、賞状を作ったわたすなどの活動をととても楽しみにしていました。でも全国フェスティバルが中止になったと聞いて残念な気持ちです。みなさんと会うことができないのはさみしいですが、私たち三ツ星エコクラブは来年またみなさんと会えるように、これからも地球に優しく、地球が笑顔になれるようなエコ活動をたくさんしていきます！一緒にがんばりましょう。

日本環境協会賞

尾瀬を訪れたとき、また普段の生活の中で疑問に感じたことを掘り下げて調べ、解決策を考えて提案にまでつなげているところがすばらしかったです。どんな課題にも対応できる、これこそ本物の学びですね。SDGs カラーが目を引きましますし、字も丁寧に、きれいに書かれていてとても読みやすいです。これからも小学生向けの環境教室や活動発表などの情報発信を続けて、多くの人たちの心にエコの火をともし続けていってください。期待しています(^_^)

(公益財団法人日本環境協会 教育事業部 部長 大西 亮真より)

福井県 坂口エコメイト（越前市 学校・全校のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

- ・見ていただく人に一目で分かるように書きました。（高山）
- ・夏休みから冬にかけて調査など頑張ってきました。みんなの努力が詰まった作品です。（山本）
- ・外来種の写真を良く見て、分かりやすく描こうと努力しました。（田中）
- ・たくさんの人に読んでもらえるように、ていねいに書きました。（坂東）
- ・暑い日もがんばっていっしょうけんめい調査をしてまとめました。（加藤）
- ・いい作品を作るのを目標に最後までがんばりました。（谷橋）
- ・調べたことを一生懸命まとめて書きました。（久保）
- ・分かりやすいようにまとめました。（田中）

見てみて坂口おもしろ図鑑

（月） 6 7 8 9 10

月	種数
6月	345ひき
7月	328ひき
8月	244ひき
9月	50ひき
10月	215ひき
合計	1182ひき

目的 外来種は多種を捕まえてコウノトリのえさを確保（まちづくり）をしよう（まちからアメリカザリガニをなくする）

今年のアリガニの数は 36人

去年の参加者 29人

今年参加者 36人

今年参加者 29人

坂口の外来種 見つけ隊

坂口にいる主な外来生物の紹介

- アメリカザリガニ
- アカシシ
- アライグマ
- ドバト
- ラムシ
- カミキリ
- サマシキ
- ヤマキ

わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

私たちの住んでいるところは、県レベルで100種、国レベルで60種ほどの希少動植物が生息していて生きものの宝庫と言われています。コウノトリが舞い降りる田んぼづくりとして、一連の田んぼ活動をしながら、「田んぼは稲を育てるだけではなく、たくさんの生きものを育む場所」として観察会や保全活動を行っています。

コーディネーターからのメッセージ

今年も想いのこもった壁新聞を作成していただきました。紙面いっぱい坂口地区の豊かな自然の保全をテーマにした記事が書かれています。少人数で環境活動をしているみなさんは素晴らしいです。今後も、地域の里山に入って生き物探しなどをすることで、環境について考えていってください。（福井県事務局）

山梨県 和泉エコクラブ（甲府市 幼保連携型認定こども園のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

- ・川や山に行き、自然を体験するのといっしょに、エアコンを使わずに夏の暑さをしのぐことができる。
- ・下校の時間を使って、ゴミ拾いをして地域をきれいにしている。
- ・買い物のときにエコバッグを使っている。
- ・ペットボトルキャップを集め、回収所に持っていき、ワクチンなどに使ってもらう。

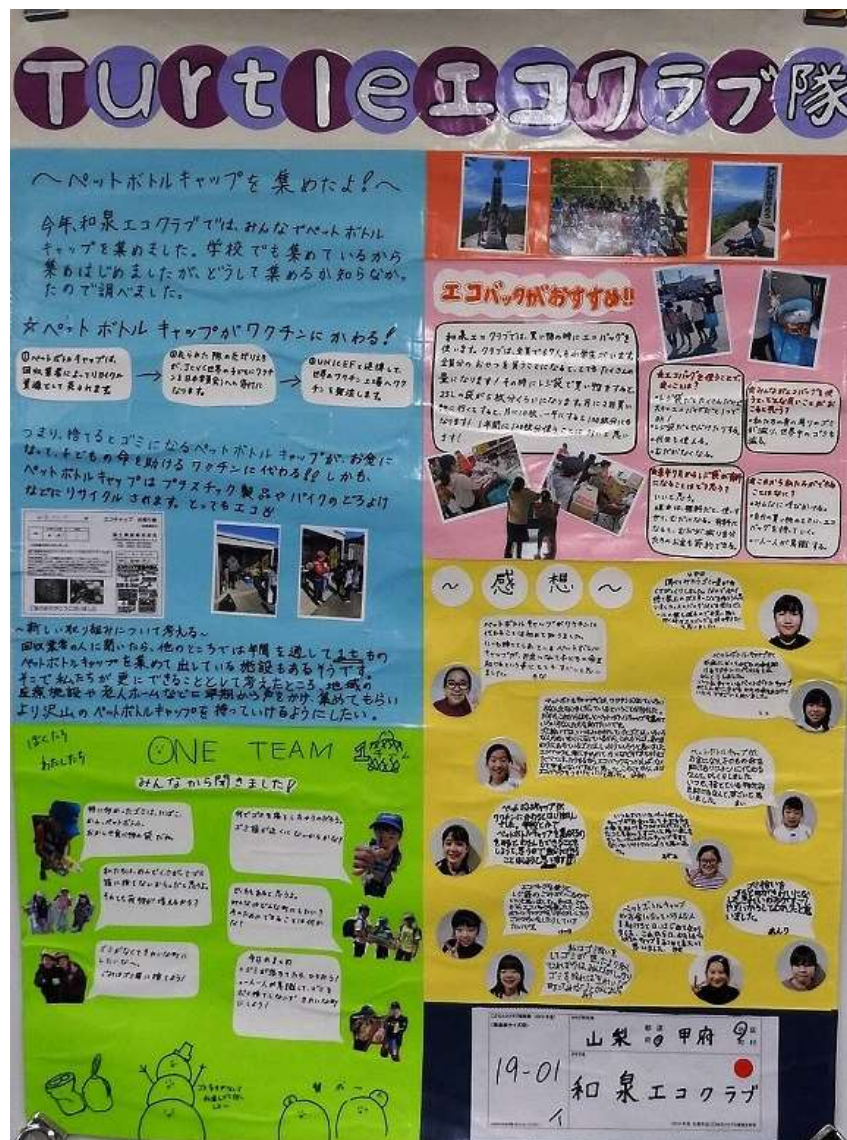
わたしたちのSDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2020」の中止を受け、大変残念に思います。世界規模でいろいろな事が低迷している中、全国で活動しているこどもエコクラブの皆さまで何かできることはないかと考えられればと感じています。日本の各都道府県でも大変な地域があるとは思いますが、皆さまで協力し、頑張っていければと思います。



コーディネーターからのメッセージ

和泉エコクラブは、山や川などの自然とのふれあいや身近なエコ活動を行っており、壁新聞からも楽しみながら取り組んでいる様子がよく伝わっています。

また、県内でも唯一毎年壁新聞を作成し応募してくれています。友達と協力し、ひとつのものを仕上げた達成感は子どもたちにとって大きな財産になることと思います。

今後も、代表をはじめとするクラブ員の皆さまが、引き続き楽しくエコ活動を実践していくことを願っています。

（山梨県事務局）

長野県 いきものみつけファーム in 松本推進協議会（松本市 地域の友だちのクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

- アピールポイントその1：じっさいに、スーパーやお店で調べた。
- アピールポイントその2：自分たちの1日のゴミの量を調べたら、トレーの重さが1番でプラスチックを多く使っていることが分かった。
- アピールポイントその3：ゴミ箱の提案で楽しい回収箱を考えた。



わたしたちのSDGsアクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

「こどもエコクラブ全国フェスティバル」が開催していたら全国の仲間の人達に会えるはずでしたが今回はざんねんながら会うことができなくなりました。ですが、これからもみなさんでもっとたくさんのエコのことについて関わっていただきたいと思います。来年もし会うことができたならみなさんとエコのことをもっと話したいです。

コーディネーターからのメッセージ

海のない長野県で、プラスチックごみ問題に着目し、研究に取り組みました。また、プラスチックのない生活を新聞の読者に分かりやすく伝え、やってみよう！という気持ちにするような楽しい内容の記事にすることができました。

エコの取組はずっと続けていくという、「持続性」がとても大切です。エコについて考え、できることからひとつずつ始めていくことが、皆さんの未来と地球を守っていくことにつながっていきます。ぜひ来年も、みんなで楽しみながら活動に取り組んでください。（長野県事務局）

静岡県 原田湧水クラブ（富士市 地域の友だちのクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

私たちは、富士山からの湧水があちこちで湧き出る原田に住んでいます。毎年、滝川の清掃と水生生物調査を行っています。他にも市内の公園や富士山などへ行き、魅力を発見しています！でも最近、外来種の問題や、ゴミの問題など気になることもあります。

この富士市のすばらしい自然がずっと続くように、自分たちクラブや、他のクラブとも協力していこうと考えています。



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

私たちは富士山のふもとで地域の自然の素晴らしさ、人の良さを感じながら元気に活動しています。また、富士市の生物多様性を守りたいと市内のエコクラブや、自然を守っている団体、市の人たちとも協力しています。新型コロナウイルス防止のために、皆さんと会えなかったのは残念でしたが、4月から皆でエコクラブを頑張っていきましょう！！皆でファイト！！



コーディネーターからのメッセージ

実施した活動等がカラフルにまとめられており、写真も多く使うことで、活動の楽しさがとてもよく伝わってきます。壁新聞を作るうえで不要となった材料を工夫して使っているところから、環境やエコに対する意識の高さがうかがえます。

自分たちが感じたことや学んだことを、読み手に伝えたい思いが強く感じ取れ、実際に読み応えのある作品となっています。
(静岡県事務局)

○ 愛知県 豊明エコキッズ（豊明市 地域の友だちのクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

豊明キッズのキャラクター『リバッパ』。皆瀬川にすんでいる自然のようせいかべ新聞のあちらこちらに登場させました。活動をする中で生まれた大切な仲間。水質パトロールやクリーン活動、エコクッキング、大根を育てて売ったり、廃油石けん作りもしました。

自然観察会では夏の夜にまっくらな村山に入って虫探ししたり、冬の二村山でおち葉でそりあそびしたり、どれもこれもアピールポイントだらけです。



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

愛知県豊明市は人口7万人ほどのあまり多くない市ですが、ピンク色の花が咲く食虫植物ナガバノイシモチソウやハッチョウトンボ、シラタマホシクサとめずらしい植物や生物が生育しています。身近に自然もあり、とても住みやすいところです。私たち豊明エコキッズは豊明市を大切にしていきたいと思っています。エコを考え、ココロ豊かにキラキラとツツツシリ体験をコンセプトとして活動しています。



コーディネーターからのメッセージ

豊明エコキッズは、子どもたちを中心に地域の人たちと水と緑、自然の大切さを体験を通して学び、伝えていくことを目的に活動をされています。

皆瀬川の水質パトロールを始め、1年間を通して豊明市の自然のすばらしさを伝える壁新聞になっていると思います。特に躍動感のある生き物のイラストはよく観察されていることがわかります。

これからも豊明市の身近な自然を体感し、環境について考えながら活動を続けていくことを期待しています。

（愛知県事務局）